

帯広市図書館からこんなことを発信しています。

その85 語り手育成講習会

赤ちゃんおはなし会で 読み手デビューしませんか？

①2014年3月12日(水) 10:30~12:00
おはなし会の方法+作品紹介

②2014年3月26日(水) 10:30~12:00
手遊び紹介+おはなし会見学

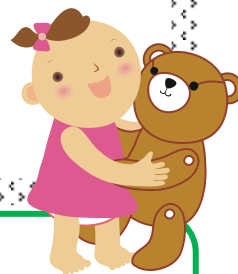
講師：図書館職員が担当します（J P I C 読書アドバイザー）

場所：図書館1階・多目的視聴覚室

対象：読み聞かせボランティアをしたい方・している方

受講料：無料 *事前申込先着50名*

★両日受講をおすすめしますが、1回だけの受講もできます★



図書館では赤ちゃん
おはなし会の読み手を
募集しています。

申し込み:お問い合わせ

帯広市図書館 2階カウンター

〒080-0012 帯広市西2条南14丁目3番地

☎0155-22-4700 FAX 0155-22-4702

今月の特集

★帯広市図書館から、こんなこと
を発信しています。

【語り手育成講習会】

★テーマ別オススメ資料

【わたしの1冊】

★図書館をもっと身近に暮らしの
なかに

【バルーンアートおはなし会】



C I T Y
L I B R A R Y

帯広市図書館

2014. 3 vol.87



フードバレーとかち

よむ☆トショ

テーマ別に図書館のオススメ資料をご紹介します！



私の1冊～人生を変えた本～

読書体験が人生を変えた経験はありますか？今回は、著名人が1冊を紹介するブックガイドを中心に「本の本」を集めてみました。思い入れのある本を紹介するときの熱心な言葉が、本好きの友人から良い本をすすめられている感覚になります。面白い本を読みたい。読んだことのないジャンルでも良い本を読みたい。という方におすすめのブックガイドです。興味が湧いた紹介本にも、ぜひ、挑戦してみてください。

3月2日(日)は、こどもの本の森ロールスクリーンお披露目会とおひさまおはなし会ひなまつりスペシャルがあります。
図書館から刊行物が2点あります。
『ジュニア文芸 第4号』(Y910ジ4/91ジ4)
『第53回 帯広市児童生徒読書感想文集』(019.25オ)
いずれも館内で閲覧できます。ご利用ください。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

3月のカレンダー
色のついている日は休館です。

BOOK 『座右の本』 原田かずこ; 著
宝島社 2階一般 請求記号(019.9ハ)

有名70人の「人生を変えた本」を一挙公開。作家の多くは文筆業を志した1冊をあげています。どの人も、何度も読む、死ぬまでにもう一度読みたい、と心酔のほどがわかります。聞き書きのためキャラクターを感じられる構成が読みやすいです。

BOOK 『スミスの本棚』 テレビ東京報道局; 編著
日経BP社 2階一般 請求記号(019テ)

『スミスの本棚』第2弾は池上彰さん、角田光代さん、満島ひかりさんなど36人が登場。人生の転機となった1冊、日々を共に歩む1冊。各分野のトップランナーたちは本から知識だけでなく生き方も学び、実践していることが窺えます。

BOOK 『この経済小説が面白い！』 堺憲一; 著
ダイヤモンド社 1階文学2 請求記号(910.26サ)

ドラマ「半沢直樹」の影響でお仕事小説が注目されています。この本では、経済小説の魅力と作品を紹介しています。異業種の現実や働く人すべてにある人間関係など、虚実を絶妙なバランスで織り交ぜた、今読むべき1冊がここにはあります。

BOOK 『ガタスタ屋の矜持』 豊崎由美; 著
本の雑誌社 2階一般 請求記号(019.9ト)

辛口正直批評で知られる豊崎さんの書評151本が収録されています。豊崎書評は辛口ではありますが、小説のあらすじや読みどころを丁寧に紹介しています。書評家を生業としている方の本好きだからこそそのダメだしも愛情ではないでしょうか。

BOOK 『冬の本』
夏葉社 2階一般 請求記号(019.9ホ)

冬の本と言って思い出す本を読書家たちがセレクトした贅沢な1冊です。和田誠さんの装丁イラストがかわいらしいです。冬の厳しさを感じさせる本が紹介されているのですが、不思議と寒さより、温かいぬくもりやほっこり感が漂う内容です。夏葉社はひとりの社員で運営する出版社でありながら、ここに登場する豪華な84人の競演はすごい一言です。

BOOK 『本屋さんで待ち合わせ』 三浦しをん; 著
大和書房 2階一般 請求記号(019.9ミ)

活字中毒者として有名な三浦しをんさん。この本では、「好きな本だけ紹介する」と宣言しているだけあり、どの作品に対しても全力で、おすすめポイントを力説しています。それにしても、非常に読書範囲が広いことに驚いてしまいます。

BOOK 『忘れられない一冊』 週刊朝日編集部; 編
朝日新聞出版 2階一般 請求記号(B019.9ワ)

週刊朝日に連載されていた「忘れられない1冊」をまとめたものです。1冊の本との出会い、それを読んでいた時の自分。どの方のエピソードも感動的で、同じ本を読んで気持ち共有したくなります。

BOOK 『福岡ハカセの本棚』 福岡伸一; 著
メディアファクトリー 2階一般 請求記号(019.9フ)

福岡伸一さんが少年時代から今まで読んできた本を公開する、「読書と私」といった趣の内容です。生命とは何かということを美しい言葉で語る福岡さんの言葉の原点がここにあります。世界を知るために読書をする習慣をつけるための入門書としておすすめです。

BOOK 『このミステリーがすごい！2014年版』
宝島社 1階文学2 請求記号(901.3コ)

1988年から毎年刊行されているミステリー小説のランキングブックです。ランクインされる作品が話題になるため、人気の高いガイド本です。このランキングから人気作家になった方も多く、今号は海堂尊さんの短編も読めます。

BOOK 『分厚い本と熱い本』 丸谷オー／池澤夏樹; 編
毎日新聞社 2階一般 請求記号(019.9マ)

昨年亡くなられた丸谷さん。毎日新聞に掲載された書評をまとめた1冊です。まとめて読むと、改めて丸谷オーさんの良質な本を取り上げる選書眼に驚かされます。このほか『愉快な本と立派な本』『怖い本と楽しい本』の3部作で2061冊が紹介されています。

BOOK 『第2図書係補佐』 又吉直樹; 著
幻冬舎 2階一般 請求記号(B019.9マ)

お笑い芸人として活躍中の又吉さんによる読書案内です。純文学の面白みや本を読んで感じたことなど、読書が苦手な方にも配慮された選書が光ります。作品のなかで共感した部分を、わかりやすい言葉でさらりと書くことのできる技術が素晴らしいです。

BOOK 『書店員が本当に売りたいかった本』 ジュンク堂書店新宿店; 著
飛鳥新社 2階一般 請求記号(024ジ)

2012年3月で閉店してしまった、ジュンク堂書店新宿店で実際に展示されていたポップ(広告)が掲載されています。最後だから本に売りたい本をおすすめしたい。この本を手にして欲しいという、書店員たちの熱い願いが文字や言葉に溢れています。

BOOK 『ザ・世のなか力』 パオロ・マツァリーノ; 著
春秋社 2階一般 請求記号(019.9マ)

覆面作家パオロ・マツァリーノが女性誌で連載していた読書ガイド。架空の商店街の古本屋兼立ち食いそば屋で、女性客の悩みを聞きながら本を紹介していく。ドラマ仕立ての読書案内です。

BOOK 『読むのが怖い！Z』 北上次郎／大森望 ; 共著
ロッキング・オン 2階一般 請求記号(019.9キ)

ベテラン書評家2名が、2008年から2012年までの169冊を解説しています。このコンビでの書評対談は長いつきあいになるのに、まったく歩み寄りがなく、好きな本だけ押し通す作品愛も読みごたえがあります。

BOOK 『振り子で言葉を探るように』 堀江敏幸; 著
毎日新聞社 2階一般 請求記号(019.9ホ)

小説家堀江敏幸さんのフィルターを通すと、1冊の本がとて豊かに語られます。同じ本を読んでも感じ方が違ったり、新しい視点に気付かされたり。また、未読の作品は読みたい興味が高まる良質な読書案内です。

BOOK 『本当のことしかいってない』 長嶋有; 著
幻戯書房 2階一般 請求記号(019.9ナ)

芥川賞・大江健三郎賞作家、長嶋有さんによる漫画から絵本、純文学までをカバーする書評集です。随所に長嶋節がさく裂しています。長嶋さんファンはもとより、まったく新しいジャンルの本を開拓したいという方におすすめです。気になる本が見つかる1冊です。

